

2025 年 6 月 24 日 3・4 歳児「絵の具であそぶ」

保育参観での活動として「造形あそび」を行いました。

絵の具と水の入ったペットボトルを子どもたちに渡すと、ペットボトルを上下に振り、色がついてくると楽しそうに振り続けていました。画用紙と筆を置くと好きな色を選んで描く。他の色も混ぜるとどんな色になるのか変化を見ながら夢中で描いていました。

次々に混ぜるとティッシュペーパーやスポンジに染み込ませて絞ってみたり別の容器に移し替えたりと遊びを自ら発展させている姿も見られました。

何の色を使って、何を描くかを伝えずに保育者が声を潜めて見守ることで子どもたちは「豊かな色に出会うこと」ができました。

また、絵の具の中に糊を入れてみると感触も変わりもんじゃべらで混ぜたりすくったり新しい感覚で集中して遊んでいる様子でした。

主体的に遊び、没頭していると「これほしい」「あれほしい」という声が出ることもなく、静かに見回して自ら手を伸ばします。

保育者が「〇〇をやりましょう」というよりも子どもの予想外の発想を感心しながら見守ることで「やってみよう」という感性が育まれるのではないかと改めて感じました。

